

いんザイ君のえほん③

いんザイ君とおともだち



© 印西市

いんザイ<sup>くん</sup>君、<sup>きょう</sup>今日も

コスモス<sup>ばたけ</sup>畑での～んびり

<sup>ひる</sup>お昼寝<sup>ね</sup>をしていました。

すると、1匹<sup>びき</sup>のメジロが

いんザイ<sup>くん</sup>君の頭<sup>あたま</sup>の<sup>うえ</sup>上に

とまりました。

「ん～、むにゃむにゃ…」

いんザイ<sup>くん</sup>君が目<sup>め</sup>を覚<sup>さま</sup>ますと…

「わあ！コスモスと<sup>おな</sup>同じ色<sup>いろ</sup>で

<sup>き</sup>気<sup>づ</sup>付<sup>け</sup>かなかった！」

メジロはびっくり。



お  
「起こしちゃってごめんね。」

い  
メジロは言いました。

だい じょう ぶ  
「大丈夫だよ。」

なに よう  
「ぼくに何か用かなあ？」

くん き  
いんザイ君が聞くと、

さ  
「きれいに咲いた

み き  
コスモスを見に来たんだ！」

い  
メジロは言いました。





ふたりは一緒に  
コスモスを見ました。

「きれいだなあ〜。

なんだかぼくたちだけで  
見てるのもったいないね。」

メジロが言うと

「もっともっと、みんなが  
見ることできたらいいね…

そうだ！」

いんザイ君は、  
何か思いついたようです。





いんザイ君は<sup>くん さと やま</sup>里山にやってきました。

「どうぞ。」

キツネさん、タヌキさん、  
うさぎさんにコスモスの  
おすそわけです。

「わあ～きれいな<sup>はな</sup>お花！」

<sup>おおよろこ</sup>みんな大喜び。

「コスモスっていう<sup>はな</sup>お花だよ。」

いんザイ君は<sup>くん い</sup>言いました。



それから、ふくろうさん、  
キツツキさんにも。

「きれいだな～！

あとで子どもたちに  
プレゼントしよう。」

ふくろうさんが言いました。

「木の穴のお部屋にかざるぞ。」

キツツキさんが言いました。



こんど みずべ  
今度は水辺にやってきました。

「ナマズさん、カワセミさん、  
コスモスをどうぞ。」

すると、

「コスモスって

どこに咲いているの？」

とカワセミさんが聞きました。

「ぼくのお家の周りに

いっぱい咲いてるんだよ！」

いんザイ君は言いました。



つぎ ひ み  
次の日、みんながコスモスを見に  
コスモス畑にやってきました。  
あれ、いんザイ君はどこにいるかな？



「いんザイ君<sup>くん</sup>みーつけた！」  
みんながいんザイ君<sup>くん</sup>のもとに  
やってきました。

「わあ！みんな、コスモスを  
み<sup>み</sup>き<sup>き</sup>に見に来てくれたんだね！  
…だけど、この場所<sup>ばしょ</sup>、  
どうしてわかったの？」  
いんザイ君<sup>くん</sup>が聞<sup>き</sup>くと  
「メジロさん<sup>き</sup>に聞<sup>き</sup>いたんだ！」  
みんなは言<sup>い</sup>いました。



みんなでおせんべい<sup>た</sup>を食べながら  
お花見<sup>はな み</sup>をしました。

「コスモスきれいだなあ！  
おせんべいおいしいなあ」  
みんな仲良し<sup>なか よ</sup>になったよ。

